



「静岡県SDGsビジネスアワード」が「第2回地方創生SDGs金融表彰」を受賞！



アワードイメージ

環境課題の解決に貢献する事業アイデアを幅広く募集し表彰する「静岡県SDGsビジネスアワード」の取組が、内閣府主催「第2回地方創生SDGs金融表彰」（令和4年度）を受賞しました。

同表彰は、SDGsを原動力とし地方創生に取り組む地域事業者を支援する地方公共団体等と地域金融機関等の連携事例を表彰するものであり、県内の金融機関や経済団体等との官民連携体制を構築しながら、環境ビジネスの振興やESG金融の活用促進に向けた施策を実施している点などが評価を受けました。

また、本アワードは令和4年度8団体を採択し、光触媒を用いて農産物の鮮度を保持し腐敗を防ぐ装置を開発した（株）浜松パルス（浜松市）が県知事賞を受賞しました。



表彰式での記念写真

プラス・エシカルマルシェの開催



県では、消費者市民社会実現のため、人や社会、環境に配慮した消費行動であるエシカル消費の普及・啓発に取り組んでいます。

令和4年度は、12月に静岡パルコ（静岡市）において、「プラス・エシカルマルシェ」を開催し、県内事業者によるエシカルに配慮した商品の販売やワークショップ、パネル展示を行いました。



マルシェの様子



マルシェのポスター

併せて、県のエシカル消費啓発サイト「プラス・エシカル」やSNSを活用したり、リーフレットを作成、配布したりすることで、県民に広くエシカル消費実践の働き掛けを行いました。

環境問題を体験！清水町環境展を開催



清水町ではSDGs（環境問題）を楽しく「知り」、「体験する」ことから「行動する」ことへの変換をテーマに、「清水町環境展」を開催しました。環境展ではeco実験パフォーマーのらんま先生による体験型講演会をはじめ、企業等と連携したエコ体験ブースの出展、燃料電池自動車（FCV）の体験を実施しました。子ども達がSDGsについて体験しながら考えることで、環境問題を身近な問題として捉え、自ら行動することが重要であることを学ぶ機会となり、町で行っている小学生を対象にした環境教育の理解を深めることができました。



エコ実験パフォーマンス



エコ体験ブース



「静岡県SDGsスクールアワード」初開催！



子ども達が、持続可能な社会の創り手となり、県内にSDGsの理念を広く根付かせることができるよう、令和4年度、新たに「静岡SDGsスクールアワード2022」を開催し、優れた取組を表彰しました。

受賞校の中には、地域の川の環境調査を通し、美しい川や地域の自然環境を守るため、自分たちにできる活動を考え実行している小学校や、海浜や海中清掃でゴミを回収・分別したうえ、プラスチックやガラスをアクセサリ等にアップサイクルして販売することで、海洋ゴミ問題について啓発を行っている高校など、環境に関する取組が多くありました。

今後も、持続可能な開発目標（SDGs）達成に関連する地域課題解決に向けた児童生徒の取組を推進していきます。



表彰式



川の環境調査

静岡県が静岡大学と「地域脱炭素の推進」に関する連携協定を締結



県内における脱炭素を効果的に推進するため、静岡大学と本県とで、令和5年3月16日に、「地域脱炭素の推進」に関する連携協定を締結しました。同日、県庁



連携協定締結式の様子



「高校生カーボンニュートラル・ラボ」の様子

にて、知事と、静岡大学の日詰一幸学長とが協定書に署名し、今後、両者が連携して県内の脱炭素に取り組むことを表明しました。

協定後初の取組として、連携事項のひとつである「地域脱炭素の実現に貢献する人材育成」のため、大学生の伴走支援のもと、高校生が脱炭素につながる企画を提案する「高校生カーボンニュートラル・ラボ」事業を進めています。